PHILIPS

Healthcare

ハートスタート
FRx+

自動体外式除細動器

富士山でも使われているAED

富士山のような過酷な環境でも使用されているAED

日本で一番高い山、富士山。山頂は最暖月の８月でも平均気温が６度しかなく、安全に登ることができる期間は７月上旬頃から９月上旬頃のみです。この約２か月間に約20万人から30万人が富士山に登りますが、高さ3,776mもの山を登るような肉体的に厳しい活動は、特に心臓の疾患や不調を抱える人にとって、適切な予防策と訓練がなければ危険だといわれています。富士山における適正利用推進協議会によれば、2008年から2017年までの10年間で712件の遭難件数が報告され、90名が死亡しています。AEDの携行は、このような悲惨な死を防ぐ助けになります。心肺停止後の救命率は1分ごとに7%から10%ずつ減少するため、救命の可能性を高めるために心肺停止から５分以内のAEDの使用が推奨されています。

誰にでも使いやすいデザイン

富士山でも使われているAEDは、フィリップスのハートスタートFRx+です。屋内はもとより屋外でも使用可能で、極端な温度変化や水、ほこり、かばんやトラックでの輸送中の激しい振動や落下の衝撃にも耐えられるよう設計されています。視覚的にわかりやすいアイコンや音声ガイダンスで、誰にでも使いやすくなっています。AEDの電源を入れたら、音声ガイダンスや表示される図に従って傷病者の胸に電極パッドを貼り付けます。パッドが装着されると、AEDが心臓の状態を自動で解析し、電気ショックが必要かどうかを判断します。

小型で屋外にも持ち運びやすいFRx＋
簡単に小児モードへ切り替え可能

FRx+は屋外や厳しい環境下でも使用可能

フィリップスのハートスタートFRx+は、自治体や学校、企業等、さまざまな施設で使用されています。屋内はもとより屋外や厳しい環境下でも使用可能で、山岳地帯だけでなく、稼働中の工事現場や、スポーツが行われるグラウンドやスキー場、プールやビーチでも使用実績があるほか、電車やバス、トラック等の車両でも多く採用されています。

持ち運びや屋外にも適した仕様

FRx+は、重さ1.6kg(バッテリー、パッド含む)で、大きさは6cm×18cm×22cm(高さ×奥行×幅)と小型軽量で、持ち運びに便利です。そのほか、耐荷重は500kg、耐衝撃性は1.22mの高さからコンクリート面に落下させた場合も想定した設計で防水、防塵性能(IP55)も兼ね備えています。

フィリップスが長年培った技術を搭載

SMART Biphasicという電気ショックの出力技術が搭載されており、ショックボタンを押すと低エネルギー二相性波形による電気ショックが行われます。電気ショックが必要と判断されない限り、ショックボタンを押しても電気ショックは行われません。ペースメーカ使用の傷病者には、特殊フィルタによりペースメーカ・アーチファクトを除去して心電図解析を実行します。静電気などによるアーチファクト検出時は、音声メッセージで正しい対処法を案内します。

クイックショック機能と小児キー

アメリカ心臓協会のガイドラインでは、胸骨圧迫の中断から電気ショック実行までの時間短縮が除細動の成功の可能性を高めるとしていますが、FRx+ではクイックショック機能により心肺蘇生のための一時中断時間終了から８秒以内(代表値)に 電気ショックが可能です。また、あらかじめ接続されたパッドは成人と小児の両方に使用でき時間節約に繋がります。そのほか、小児キーを採用しており、キーを差し込む意識的なアクションで小児モードへ切り替えができ、小児モードと成人モードの切り替えの間違いを防ぎやすくなっています。

富士山でも使われているAED

山のレジャーや災害時に備えたい！緊急時に役立つ無料の救急・救命補助アプリとは？

日本発の救命・救急補助アプリ

山のレジャーや災害時は救急の到着が遅れ、体調不良が命に関わる事態に発展することもあります。連絡や応急処置、AED検索など緊急時に役立つ無料の救命・救急補助アプリ（株式会社アルム提供）をご紹介します。

画像１*

画像２*

山に登る人、全員に備えてほしいアプリ

山の天気は変わりやすく、突然の雨に濡れて低体温症になったり、炎天下の稜線歩きで体調を崩すなどさまざまなリスクがひそんでいます。さらに街中と異なり、山では対応も大幅に遅れがちという現実。総務省消防庁発表の「平成30年版救急・救助の現況」によると、救急車の全国平均到着時間は8.6分ですが、山岳遭難の場合、山道にはばまれて現場の特定や到着に時間を要します。山などの僻地で心肺停止が発生した際に間に合わないケースが多いのが実状です。

もし、あなたや身のまわりの人が急な症状で倒れたら、救急隊の到着までに一体何ができますか。

「パニックで何もできないかも」「AEDがあっても使える自信がない」―そう考えるのは当然です。でも、近くにいる誰かに助けを呼べたら？　そばに指示を出してくれる人がいたら？何らかの支援があれば、助けることができるかもしれません。そんなとき、心強いサポーターとなってくれるのが、無料でダウンロードできる救命・救急補助アプリ「MySOS」（マイ・エスオーエス）です。

“陸の孤島”となる山での救助にも貢献

「MySOS」には、そばにいる人が倒れた時に必要となる一時救命処置ガイドや応急手当ガイドなどの情報を網羅。また「MySOS」をインストールしている本人が倒れた場合は、事前に登録している緊急連絡先への連絡や、本人の病歴や服薬などの情報を共有可能です。

誰かが倒れたら、まずは119番通報が必要です。その後「MySOS」を使って以下のように救助を進められます（状況により順番は異なります）。

救助を求める手順

【STEP1】救命処置ができる人や家族にSOSを送信
【STEP2】あなたの居場所やAEDの場所を「可視化」
【STEP3】今すべき手当てや処置が一目でわかる

画像３*　救援依頼

AED検索

「MySOS」アプリが教えてくれる救命処置

イラストや音声が一次救命処置の手順をリード

さらにAEDを使う際に必要な一次救命処置はアプリが教えてくれます。医療の知識や経験がなくとも、アプリの示す手順を参考にすることでとっさの一次救命処置に役立ちます。一次救命処置ガイドのすぐれた点は「はい」または「いいえ」で画面をタップしていけば、イラストや音声で次の行動をわかりやすく教えてくれること。まるで、隣に救命のエキスパートが寄り添ってくれているかのように、救護活動を進めることができます。

画像4＊　一次救命処置ガイド

山だけでなくマラソン大会でも活用

最近ではマラソン大会などのスポーツイベントで、運営スタッフが急病者の救助のため「MySOS」を活用する事例も増加しています。

世界でも使われる救急・救助補助アプリ

さらには現在10か国語に翻訳され、世界中で活用の輪が広がっています。

AED取り扱いについての注意点

・AEDを設置した際は、AED管理者が、製造販売業者の推奨する保守点検を実施するとともに、AEDの常時使用可能な状態の確認をしてください。電極パッド、バッテリの使用期限の確認、および期限内の交換の実施を確実に行ってください。（電極パッドは使い捨てのため、再使用は禁止されています。）

・医療機器は、その品質、有効性及び安全性の確保を維持する期間を明確化するために、「耐用期間」が設定されています。「耐用期間」を過ぎたAEDは、できるだけ速やかな更新をお勧めします。

・製品に同梱された表示ラベルは、電極パッド、バッテリ等の消耗品の使用期限がわかるように本体またはキャリングケース、キャビネット等のわかりやすい位置に設置してください。表示ラベル等が添付されていない場合は販売業者へ連絡してください。

・以下の場合は管理者が製造販売業者へ連絡してください。
  - 不測の事態が発生したとき
  - 譲渡するとき
    （高度管理医療機器販売業の許可を有する業者に限る）
  - 廃棄するとき

・未就学児に対する成人用（標準）モードでのAEDの使用は、小児用パッドあるいは小児用キーによる小児用モードを備えたAEDが近くにない等、やむを得ない場合に限り使用してください。また、未就学児に使用する場合には、2枚のパッドが触れ合わないよう特に注意してください。

・添付文書を必ずお読みください。

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケータや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。製造販売業者または販売業者が、設置者の保守管理の手間を軽減する独自のサービスをご用意しております。お客様のご都合に合わせて、これらを利用し、いつでもAEDが使える状態にしておいてください。

＊株式会社アルム提供の画像です。

製造販売業者
株式会社フィリップス・ジャパン
〒108-8507　東京都港区港南 2-13-37 フィリップスビル
AED コールセンター　0120-802-337
03-3740-3269
受付時間　9：00～18：00
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）
www.philips.co.jp/healthcare

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくは「AED コールセンター」までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V. またはその他の会社の商標または登録商標です。

© 2019 Philips Japan, Ltd.

販売名：ハートスタート FRx
医療機器承認番号：22000BZX00305000
特定保守管理医療機器／高度管理医療機器

販売名：スマートパッド
医療機器届出番号：13B1X00221000029
一般医療機器

1924075K
0619PDF01-FK　Printed in Japan